

2004年2月4日

< 報道資料 >

東北パイオニア株式会社

**東北パイオニア、パッシブタイプ有機ELエリアカラーパネル供給開始
～富士通株式会社がNTTドコモ携帯電話「FOMA F900i」の背面ディスプレイに採用～**

東北パイオニア株式会社(本社:山形県天童市 代表取締役社長:山田昭一)は、NTTドコモが究極のiモードケータイと謳って、この度発表した「FOMA900iシリーズ」5機種の内、富士通株式会社製の携帯電話で「FOMA F900i」のサブディスプレイ用として、パッシブ型エリアカラー有機ELディスプレイの供給を開始いたしました。

今回供給するパネルは、表示サイズ1.0インチ、ドット数96x38のパッシブ型3色エリアカラー(単色)ディスプレイです。この度、「ムーバ」シリーズに続き、NTTドコモ社が、次世代の主力機として投入する第3世代携帯電話「FOMA」シリーズにも、当社のパネルが継続して採用されたことは、有機ELが持つ視認性の高さや発色の美しさに加え、当社が1999年に世界で初めて量産を開始して以来、常に高品質の有機ELパネルを安定して出荷・供給してきた実績が高く評価されたものと思われま

当社の有機ELディスプレイは、携帯電話では富士通や韓国LG社に、パイオニア社製カーステレオなどに採用され、またこれまでとは違ったアプリケーションメーカーからの問合せが相次いでおります。出荷も順調で04年3月までに累計出荷枚数が1500万枚を突破し、04年3月期の有機EL事業の売上は130億円を見込んでおります。

当社では、03年12月に同じく富士通向けにNTTドコモの携帯電話「ムーバ F505iGPS」のサブディスプレイ用として、燐光材料を使用し色表現力が豊かな4096色のパッシブ型カラー有機ELを供給し、好評を得ておりますが、この度の「FOMA F900i」では文字の見やすさ等に優れたディスプレイとして最適なエリアカラー有機ELが採用されました。また、今年1月には、一つの画素に2色を塗り分けその組み合わせにより様々な色を再現するCCP方式を採用したマルチカラー有機ELディスプレイを、パイオニア社製カーステレオに供給を開始しております。このように、様々なアプリケーションに合わせ、当社が持つ有機EL量産技術と開発力でお客様のニーズに最適な有機ELディスプレイを提案・供給してまいります。

< お問い合わせ先 >

東北パイオニア株式会社 広報部 長澤
< 広報代行 > (株) プラップジャパン 新井

: 023-654-9198 Fax: 023-654-9526
: 03-3486-6868 Fax: 03-3486-7502



「FOMA F900 i」